

地域共生フェス 2019

そこにある大地

日時：2019 年 10 月 12 日（土）

13：30～16：00

場所：東市民センター なみきホール

ご挨拶

そこにある大地

～「声」が繋ぐもの～

本日は、「地域共生フェス 2019」に足を運んでいただき、誠にありがとうございます。

2014年にガムランを導入して以来、Go On を結成し、たくさんの方々に支えられながら、本日のイベントを迎えることができたことをたいへん嬉しく思います。日常の音楽活動の中で、創作や練習を重ね、結成して3年という年月をメンバーと共に過ごしてきました。日々、音楽活動や創作活動を続けていく中で、時おり「はっ」とする驚きや美しさを感じるひと時があります。

ここに、愛智一郎さん（Go On のメンバー）の詩の一節を紹介いたします。

「大地はそこにある 輝きはじめた太陽が 緑が光り森の中 鳥たちが飛ぶ空のように
大地はそこに広がって 空に風がふくように」

この詩は、本日演奏される「ガムラン・エチュード No.1 ～共生～（作曲：藤枝守）」のメロディを聴いて、愛智一郎さんによって創作されました。この曲は、香椎宮の綾杉から作曲されました。この土地で生まれたメロディを奏で、この土地に生きる人々が高らかに歌う。そして、そこに集った人々が、その「声」を聴いてみる。

身体の躍動とともに、命の鼓動ともいえる太鼓の「声」を導き出す演奏家。高齢者が生き生きと「健康長寿」を謳歌する社会の実現に向け、懸命に地域医療を支える原土井病院。その地に生きる植物の生体電位を音に変換し、植物の「声」に耳を傾ける作曲家。そして、古来より祈りの地として、1800年もの永い時を越えて、香椎の地を守り続けてきた香椎宮。

福祉、医療、企業、神社、それぞれの領域を超えて、同じ地域に生きる人々の「声」に耳を傾けてみることで、「地域」の価値や課題を改めて考えてみる契機となれば、幸いです。最後になりましたが、開催にあたり、文化庁をはじめ、関係者のみなさま、演奏家のみなさまにご支援、ご協力を賜り、「地域共生フェス 2019」を開かせていただく運びとなりましたことを、心より御礼申し上げます。

社会福祉法人 明日へ向かって 音楽活動ディレクター 渡辺 融

公演プログラム

地域共生フェス 2019

歓迎演奏「雨と月」「時の魔法」 演奏：Go On×寺崎充央

司会・進行 元木 哲三 氏（ライター・ラジオナビゲーター）

第一部（13：30～）

① 「ぶちあわせ太鼓」「海のお囃子」「太鼓囃子」 演奏：ブルーリーフ和太鼓ファミリー

② 特別トーク「健康長寿のまちづくり」 原 寛 氏（原土井病院 理事長）

③ コラボレーションライブ「アフリカ／日本」 演奏：Go On×T A K E O×寺崎充央

第二部（15：00～）

④ セッション「地域共生社会の構築に向けた想い」

山下 和海 氏（原土井病院 患者支援センター長）

満生 剛 氏（社会福祉法人 多々良福祉会 法人本部 副部長）

久木田 浩紀 氏（福岡銀行 土井支店 支店長）

末松 忠弘 氏（社会福祉法人 明日へ向かって 理事長）

⑤ 「平調 音取」「越天楽」「陪臚」 演奏：香椎宮雅楽保存会

⑥ スペシャル対談「千年の記憶 ～綾杉からのメロディ～」

楠本 展将 氏（香椎宮 権禰宜）

藤枝 守 氏（九州大学大学院教授 作曲家）

⑦ 「ガムランエチュード No.1 ～共生～」 演奏：Go On×雅楽保存会 作曲：藤枝守

⑧ フィナーレ 演奏：Go On×TAKEO×寺崎充央×ブルーリーフ和太鼓ファミリー×会場の皆様

プロフィール

Go On

2016 年グループ結成。「社会福祉法人明日へ向かって」のガムランチーム。2014 年にインドネシアの西部ジャワの「ガムラン」を導入し、施設の日中活動として音楽活動を開始。

セッションやワークショップを通じ、ガムランによるオリジナルのメロディ創作や歌詞づけから楽曲を制作している。チーム名である「Go On」は、「go on（進む、継続する）」「五音（音階の数）」「轟音」「御恩」そして「ゴーン（音）」という五つの言葉が重ねあわされている。

香椎宮雅楽保存会

1971 年、雅楽演奏団体として結成。香椎宮において春秋の氏子大祭をはじめ、月次祭などで祭典楽として雅楽を奉奏。古典雅楽の伝承のため、定例練習の他、元宮内庁楽師による稽古の場を定期的に設け、練習に勤しんでいる。2016 年より、なみきホールでのこけら落とし公演を皮切りに定期演奏会をこれまで 3 回開催し、管絃や舞楽、朗詠など雅楽の世界を幅広く紹介している。

ブルーリーフ和太鼓ファミリー

2015 年グループ結成。放課後等デイサービス「ブルーリーフ」の和太鼓チーム。

メンバーは、小学 1 年生から高校 2 年生までの 15 名で活動し、練習を重ねている。どんたく港まつりや太鼓ピクニック、ふれあい広場など地域のイベントに参加し、演奏活動を行っている。和太鼓を通じて、力のコントロールや発散、仲間意識を持つことなどを学び、一人一人が目的を持って音楽活動を展開している。「メンバーみんな楽しく、笑顔で叩きますので、ぜひご覧ください。」

Takao 寺崎充央（あふりかじゃんぐる）

福岡県久留米市生まれ。幼少より和太鼓に親しみ、各地で演奏を重ねる。

1999 年アフリカン音楽活動開始。同年『FOLIKAN』参加。

ギニアやマリに渡り、現地の生活を体験しながら太鼓や弦楽器を学ぶ。

『あふりかじゃんぐる』を結成し、障がい福祉施設や子ども向けにレクリエーションを行っている。演奏活動の他に教室やワークショップの主催など精力的に活動している。

TAKEO 新倉壮朗

1986 年生まれ。即興演奏家。

11 才の時、アフリカのセネガルの太鼓「サバール」を知り、アフリカ音楽にのめり込む。2002 年より「新倉壮朗の世界」と題して定期的にコンサートを開き、パワフルなステージを繰り広げている。2011 年、セネガルでの様子を中心に、タケオと人々と音楽を介したコミュニケーションを描いたドキュメンタリー 映画「タケオ」が完成し、世界各地で上映され好評を博す。

2018 年 6 月、フランス・パリの日本文化館にて"Takeo & Bala Dée"に出演。

主催 文化庁、地域共生フェス実行委員会

主管 社会福祉法人 明日へ向かって

後援 福岡市